



「マスク」はポストコロナ時代のお楽しみグッズになれるのか



マスク生産に乗り出す企業が後を絶たない。夏場に向けて蒸れにくく、スポーツ時にも使えるように工夫したものやファッショナビリティを意識したものもある。

ドラッグストアなどで品切れ状態だったマスクは供給量が増え、次第に手に入りやすくなってきた。高騰していた販売価格も下落しており、新型コロナ以前の水準に近づきつつある。

新型コロナ後の新しい日常ではマスクは不可欠な商品なだけに需要は確実にあるが、価格が高めの機能性やファッショナビリティで勝負するこれらマスクは消費者の支持を得ることができるだろうか。

スポーツウェア素材やパジャマ残布を活用

スポーツ用品大手のミズノ<8022>は、水着や陸上ウェアで採用している素材を用いたマスク「マウスカバー」を5月20日に2万枚発売したところ完売したため、第二弾として5月28日から追加で5万枚の販売を始めた。当初は予約販売を予定していたが、アクセスの集中を避けるために当日に抽選販売に切り替えた。

伸縮性に優れた素材を使用し、内側には肌触りの良いソフトな素材を用いたほか、顔の形に合った形状としたためストレスが少ないという。手洗い洗濯が可能で、サイズは3種類ある。価格は1枚935円。

ミズノのマスク「マウスカバー」（同社ニュースリリースより）

無印良品を展開する良品計画<7453>は6月に、Tシャツやパジャマの生産に用いているオーガニックコットンの残布を用いた夏素材マスクを発売する。

マスク全体に抗菌防臭加工を施したほか手洗い洗濯が可能で、サッカーリボン（6月上旬発売）、ムラ糸天竺編み（6月中旬発売）、鹿の子編み（6月下旬発売）の3種を用意した。

同社は5月1日から洗濯が可能な三層マスクを販売しており、すでに販売枚数は約100万枚に達している。価格は今回の3種を含めいずれも2枚組みで999円。

女性向けマスクも登場

創業90年のニット製品メーカーであるノグチニット（大阪市）は、涼しく蒸れにくい女性向けのニットマスクを発売した。

ノグチニットのニットマスク

一枚ずつ無縫製編み機で立体的なデザインに編み上げており、耳紐の部分まで一体で編むことで耳が痛くなりにくくしたほか、柔らかい芯材を縦に入れることで、口元の形が出ず、小顔効果やきれいな横顔などが見込めるデザインとした。価格は専用の洗濯ネット付きで1枚1800円。

不織布を用いた使い捨てのマスクは供給量が増えたことから、価格が下落しており、ネット通販などで

は50枚入りが1000円を切る商品も現れてきた。

機能性やファッション性を高めたマスクは、これら商品と比べると割高だが、差別化が可能なため着ける楽しみが生まれそう。マスクはポストコロナ時代を楽しく過ごすための一つのアイテムとなるかも知れない。

文：M&A Online編集部